

# 健康福祉委員会資料

## (健康福祉局関係)

### 3 陳情の審査

- (1) 陳情第33号 ストーマ装具を自宅近くの避難所に保管できる場所の  
確保に関する陳情

資料1 災害時におけるストーマ装具の保管について

令和2年2月6日

健康福祉局

1 ストーマ装具について

- ・ストーマ - 手術などによって腹壁につくられた排泄口。  
人工肛門等の消化器系ストーマと、人工膀胱等の尿路系ストーマがあり、外見、形状は人によって様々。
- ・ストーマ装具 - 排泄物を受け止めるストーマ袋（パウチ）+ 袋を取り付ける土台となる面板（皮膚保護剤）  
形や大きさ、組み合わせ等はストーマ保有者によって多様である。  
排泄物やにおいなどの漏れがないものを選択し、時間帯を見計らって交換する必要がある。

2 障害児（者）日常生活用具給付等事業

- ・障害者総合支援法に基づき、市町村が行う地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定。
- ・障害児（者）の日常生活上の便宜を図るための用具の一つ ⇒ 排泄管理支援用具 ⇒ ストーマ装具
- ・平成 31 年 3 月末 身体障害者手帳交付数：37,329 人 うち、ぼうこう・直腸機能障害者数：1,876 人
- ・ストーマ装具及び付属品（ストーマ用品・衛生用品）等の給付状況

| 平成 30 年度      | 給付件数     | 給付額        | 給付額に占める割合 | 平均給付額      |
|---------------|----------|------------|-----------|------------|
| ストーマ装具（消化器系）  | 15,165 件 | 131,586 千円 | 43 %      | 8,677 円/件  |
| ストーマ装具（尿路系）   | 3,677 件  | 41,371 千円  | 13 %      | 11,251 円/件 |
| 紙おむつ・収尿器      | 10,253 件 | 81,084 千円  | 26 %      |            |
| 排泄管理支援用具 合計   | 29,095 件 | 254,040 千円 | 83 %      |            |
| (参考) 日常生活用具全体 | 29,984 件 | 307,157 千円 |           |            |

3 災害時に向けた対応

(1) 応急的なストーマ交換用セットの備蓄

- セット内容 … ・汎用性が高いストーマ装具（3 種） 消化器系用 2 種・尿路系用 1 種 ・外部蓄尿袋  
・既製のストーマ用品セット
- 1,500（平成 26 年 ぼうこう・直腸機能障害者概数）×10% = 150 セットを健康福祉局災害倉庫に保管
- ◎ 発災時には、市災害対策本部や区からの要請に基づき、区役所等に搬送することを想定



清拭・清浄料、剥離剤、  
破棄用袋、不織布ガーゼ、  
テープ、使い捨て手袋、  
チャック付きナイロン袋、  
ナイロン袋、携帯セルフカード、  
洗濯バサミ、ハサミ



◎ 医療用具の備蓄として、よりの確かつ効率的なものとなるよう、専門職の指導を受けながら見直しを進める。

(2) 民間事業者等による協力・支援

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会（JSSCR）



ストーマ支援物資を要請

ストーマ用品セーフティネット連絡会（OAS）… ストーマ用品メーカー6 社によって結成



災害発生から約 1 か月間、OAS 会員が販売しているストーマ用品を無料提供

災害救助法が適用された市町村内におけるストーマ保有者

※ 熊本地震発生時に、厚生労働省社会・援護局から熊本県・熊本市に対し、情報提供あり

◎ 発災時には、備蓄セットの提供に加えて、より、市内ストーマ保有者の使用実態に近いストーマ用品が提供できるよう、OAS との連絡・調整により、ネットワークを活用する。

4 他都市の状況

| 自治体名  | 個人用装具の保管 | 汎用的な装具の公的備蓄 | 避難所での備蓄 | 事業内容等                                       |
|-------|----------|-------------|---------|---|
| 横浜市   | 有        | 無           | 無       | 各区にある地域活動ホームに保管 保有者 4,870 名→依頼者約 140 名      |
| 相模原市  | 有        | 無           | 無       | 保健福祉センター他計 8 か所に保管 保有者 940 名→依頼者 94 名       |
| 横須賀市  | 有        | 無           | 無       | 行政センター、点字図書館他 10 か所 保有者 700 名→依頼者約 100 名    |
| 藤沢市   | 有        | 無           | 無       | 各市民センター、公民館に保管 保有者 600 名→依頼者 70 名           |
| 葉山町   | 有        | 有           | 無       | 庁舎倉庫に保管 保有者 50 名強→依頼者 7 名/H29 備蓄品の装具・洗浄剤等更新 |
| 逗子市   | 無        | 有           | 有       | 消化器系・尿路系各 2 種 3 か所の小学校に 10 枚ずつ備蓄 保有者 110 名  |
| 千葉市   | 有        | 無           | 無       | 各区役所高齢障害支援課に保管 保有者 1,500 名→依頼者 17 名         |
| さいたま市 | 無        | 無           | 無       | 県委託によるランニング備蓄 取扱事業者が一定数の在庫確保 ⇒ 避難所への搬送      |
| 名古屋市  | 無        | 無           | 無       | 民間事業者との福祉用具供給の協定                            |
| 川崎市   | 無        | 有           | 無       |   |

5 陳情の要旨に対する本市の考え方

- ・災害により保有者のご自宅からの持ち出しが困難となる場合があること等から、汎用性の高いストーマ装具と交換に必要なストーマ用品を応急セットにして、150 セットの備蓄を行っている。
- ・発災時には、被災された方の要望に応じて、備蓄セットを提供するとともに、より、市内ストーマ保有者の使用実態に近いストーマ用品が提供できるよう、民間事業者による協力・支援体制を活用する。
- ・避難所となる小・中学校は、教育を行うための公共施設であり、個人用の物資を保管しておくことは難しく、特に、保健室は、平常時から応急処置を行う等特定の目的を有しており、発災時には避難所運営に利用し、避難者の立入を制限する場所とされており、施設の管理運営上、難しいと考える。
- ・発災時の区役所等への搬送など、効果的な保管場所について、関係局区と検討を進めるとともに、汎用性のあるストーマ装具の効果的な備蓄について、関係団体と意見交換を行っていく。